

# すなお

令和元年6月号



明治二十七年四月三日

## おやのこじば

神の道とは言えようまい。  
人間の義理を立てる。

あつちの顔を眺め、

こつちの顔を眺め、

神の道を一つも立てず、

あつちの顔を眺め、

人間の義理を立てる。

しかし、これが現実ですのでいろいろな変化を受け入れていかなければなりません。でも、考えてみれば今年は八月四日、ラストパレードのそのフィナーレの日に出演することになるのです。本当に不思議ですし、すごいことです。

コスミックバンドが結成されて次の年からパレードに出演させて頂き、どんな年もありましたが、一度も途切れることなくつとめさせて頂くことができました。フィナーレに相応しい心とコスミックバンドの姿を親神様、教祖、そして子供達に見せられよう精一杯頑張りたいと思います。

会長

今年のこどもおぢばがえりも、あと二ヶ月足らずとなりました。だんだんの練習を重ねて本番に向かっています。そんな中、本部より来年のおやさとパレードの全面見直しの発表がありました。（パレードが無くなる？）いつかは来ることかもしれません、まだ先のように思っていたので何とも自分の心の対応に苦慮しました。

## 教会ニュース

### おやさとパレード出演者募集

今年最後になるおやさとパレードに共に出演したいという方がありましたら、出来るだけ早く会長まで申し出て下さい。何らかの形での出演を検討します。

### 高校生以上の婦人会員の皆様へ

『婦人会創立110周年決起の集い』が5月から全国各地で開催中です。開催場所につきましては、教会またはホームページでご覧頂き、ぜひご受講下さい。

※参加費 500円

※参加票持参のうえでお願い致します。

### 婦人会創立110周年 日々の理御供 報告

5月には47,500円を上級葛城へ運ばせて頂きました。2020年4月までつとめさせて頂きますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

### 瀬戸路分教会エコプロジェクト

### ～太陽光発電状況～

5月16日検針で2,559kWh発電し、99,493円の売電金額となりました。  
累計99,026kWh、3,878,013円の総売電金額となりました。

すなお (立教182年6月号)

通 巻  
發行所

No.707  
天理教瀬戸路分教会  
794-0007 今治市近見町4-5-10

0898-23-5004

FAX 0898-23-5123

發行日 2019.6.16  
二宮英治

責任者



## 「タイ」で味わったこと、、、。

二宮 元輝

僕は5月31日～6月9日までSEP(西和教育プログラム)に参加してきました。天理教西和分教会長夫妻と一緒にタイへ趣き、様々な活動を行ってきました。このプログラムの主な活動内容は『幼稚園や小学校を訪れ子供達に学用品や衣服の他、奨学金を寄付すること』です。とても刺激的な10日間でたくさんの事を勉強させてもらいました。今回、僕が学んだことを3つに分けて書かせてもらおうと思います。

1つ目は、世界だけのために必要なこと。僕たちが支援をした先の人々は主にタイの山岳民族でした。彼らは歴史的な背景が原因で、就きたい仕事に就けず、賃金が低い。そして、子供達に教育の機会を与えることができないなど、とても厳しい状況にあります。僕は、その国や地域の『歴史・宗教・文化・言語etc...』を勉強した上で初めて、今現在の状況や課題、解決策を明確にできるようになると思いました。つまり、様々な視点から見ることでおたすけや眞の国際支援に繋がってくるのではないか。ということです。

2つ目は、場所が変わっても人の繋がりの形は変わらないということ。学校の先生、子供達、ホームステイ先のご家族、元奨学生の皆さん。僕が10日間で出会った上記の方々は、会長さんご夫妻が29年間もタイに通い続けた賜物であると感じました。実は29年間という長期の活動の中で、現地人に騙されたことも、お金を不当に使われたこともあったそうです。それでも、子供達のために会長さんご夫妻は一生懸命タイに通い続けました。そしていつしか、現地の方々との繋がりが深まり、今に至っているのだと思います。人間同士の繋がりは日本でも、タイでも全く一緒。僕の通り方も改めないといけないと気付かせもらいました。

3つ目は、全力で受け入れること。おかげさまで、僕は日本ではできないことをたくさん経験することができました。分かりやすい例で言うと・カエルの唐揚げとスープ・サソリの天ぷら・アリの炒め物・ワニの串焼きなどたくさんいただいてきました。とにかく美味です!!!実は食べ物以外にもたくさんあるんですけど、書けないので省きます(笑) つまりですね、僕が言いたいのは、タイ=外国ではなくて、タイ=タイ人の母国であるということ。僕が食べたサソリも誰かの故郷の味かもしれない。それを美味しいと言って食べる事はある意味礼儀でもあり、当たり前のこと。現地の人と同じように生きることは案外忘れられがちなことかもしれないですね。

僕が今回のプログラムで学んだ『1.世界だけのために必要なこと』『2.人の繋がりの形は変わらないということ』『3.全力で受け入れること』を心にとめて毎日を通らせてもらおうと思います。

## 心の風景



鈴代

ある夜 食べた夕食を全部吐いてしまった  
どんな原因があったかはさて置き  
私はハッと自分の心に気がついた。  
食べられるのは当たり前と、  
大いに傲慢になっていたことだった

食材がどう 料理法がどう 美味しいとか  
まずいとか、栄養があるとかないとか  
色々な情報に迷わされている自分に気がついた  
何と申し訳ない心を使っていた事か

肉や、魚もその時まで必死で生きていた  
野菜もむろん生きている、多くの命をいただいて今  
私は生かされている、食べ物に感謝することを  
すっかり忘れていた。「これはおいしい、、、」と  
いつも言葉にしていた親会長さんの顔が浮かんだ

食したものが胃に収まり消化吸収されて  
血となり肉となり、今日の私の体を支えてくれている  
生かされているのは神様のお働きなくしてあり得ない  
感謝と、お礼が足らなかつたと気がついた。  
吐くのは、苦しかったけれど、心さわやかに  
心に深く刻み込んだ良い体験となつた。



## 新しいスタート

田中 道則

親会長さんの出直し以来、久しぶりにすなおの原稿を書かせてもらうことになりました。自分は今年の初めに華世さんと入籍して半年が過ぎました。毎日楽しく暮らさせてもらっていることに喜びが溢れます。

「夫婦をこしらえきたるでな」とおつとめの中にある。結婚をした事で今まで以上に学ぶことがあると思います。日々楽しみの心で御用につとめたいです。